

## 吸着材による資源循環型社会への貢献

資源循環型社会の観点から、CO<sub>2</sub>以外の有害物質においても、大気中に排出されることは防がなければなりません。吸着材を使えば、排ガスや排水中に含まれる有害物質を取り除くことが可能です。取り除いた物質が利用価値の高い物質である場合は、吸着材から脱離させて回収し、燃料化や資源化を目指します。例えば、私が現在取り組んでいる研究では、水蒸気を含むガス中の希薄なメタノールをプルシアンブルー類似体で回収し、再資源化に成功しています。・・・